

特集

東京・青山のど真ん中に 新美術館オープン

伊藤忠青山アートスクエア

ひさしく美術館のオープンが見られなかったが、このほど東京・青山に大手商社の伊藤忠商事株式会社

（本社：東京都港区、代表取締役社長：岡藤正広）が、社会貢献活動の一環として、アートを通じた「次世

代育成」、「地域貢献」、

「国内外の芸術や文化の振興」を目的とした「ギャラリースペース」「伊藤忠青山アートスクエア」を10月26日に東京本社に隣接する商業施設「アイプラザ」にオープンした。アートを通じて次世

代育成、地域貢献の拠点の「伊藤忠青山アートスクエア」は、4つのテーマに沿った企画展を年5〜6本開催する予定。

【特別企画展】

「障害者自立支援」や「環境保全」など社会的課題に対するメッセージ性の高いアーティストの作品展示。

【若手アーティスト支援】

「若手アーティスト支援」近隣ギャラリー等との協業による、若手アーティストの作品発表支援

【地域イベントとの連携】

「在日各国大使館との連携」地域イベントと連携した企画展

【在日各国大使館との連携】

在日各国大使館と連携し、当該国の芸術・文化の振興に貢献

伊藤忠青山アートスクエア

東京都港区北青山2-1-1 シーアイプラザB1 喫茶併設
開館時間は各企画展の開催概要に準ずる



オープン記念 ねむの木の子もたちのまひんアート展

前号でも紹介しましたが、企画第一弾として、ねむの木学園創立45周年記念「ねむの木のこどもたちとまり子美術展」を開催することが決定している。

今回の展示では、これまで国内のみならずパリやニューヨークなどで延べ500万人を魅了してきた、ねむの木学園のこどもたちの絵画・友禅などの作品を展示する。

「ねむの木学園」（静岡県掛川市 宮城まり子園長）は1968年に日本初の肢体不自由児療護施設として発足。創立45周年とな

宮城まり子園長は長年にわたる児童福祉、教育向上の功績が認められ、ベストローチャー教育賞、ヘレン・

ケラー教育賞、ヴァルナ国際赤十字映画祭スペシャルグランプリ（映画：ねむの木の詩がきこえる）など数多くの賞を受賞し、2004年には東京都名誉都民としても顕彰されていることは知られている。

なお、入場料は全額がねむの木学園の活動に充てられます。